

平成29年5月22日

No. 17-141

株式会社 伊予銀行

松山北支店で「森のあるまちづくり」の植樹をします！

～6月オープン予定の店舗で、地域の幼稚園児のみなさんといっしょに約150本を植樹～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、「『森のあるまちづくり』をすすめる会」の参加企業として、平成29年5月31日（水）に松山北支店支店（6月19日オープン予定）で植樹しますので、下記のとおりお知らせします。

当日は約50名の幼稚園児のみなさんをご招待し、シャリンバイなど約150本を植樹します。今回の植樹により、「『森のあるまちづくり』をすすめる会」の累計植樹本数は46,383本となります。

今後もふるさと愛媛を緑豊かな地域にするため、「森のあるまちづくり」に積極的に取り組んでまいります。

記

「森のあるまちづくり」植樹

項 目	内 容
開 催 日	平成29年5月31日（水） 荒天の場合は中止いたします。
開催時間	午前9時50分～11時
開催場所	当行松山北支店（松山市東長戸4丁目6番32号）
参 加 者	地域の幼稚園児のみなさん約50名
植樹本数	約150本

「森のあるまちづくり」をすすめる会

当行が中心となって平成22年8月に発足した会で、平成29年3月時点で67企業・団体が加入しています。まちなかの社有地等で、「宮脇方式」による植樹を行い、ふるさと愛媛を緑豊かな地域にする活動を展開しています。

< 「宮脇方式」の植樹とは >

横浜国立大学名誉教授 宮脇 昭氏が提唱する植樹方式で、土地本来の植生を中心に多くの樹種を密植し、植物間の生存競争を促して「本物の森」を育てるものです。通常の植樹方式より成長速度が速く、丈夫に成長し、災害にも強いとされています。

以上